

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社は
食文化の発展に情報システムで貢献する

ROE
20%以上

配当性向
30%

② 中長期の経営戦略

1. 自動発注システムの強化

特許取得「自動発注システム」を中小飲食店向けに販売・開発体制を強化。食品ロス対策と人手不足解消を実現

2. セルフ系・AIロボット展開

セルフショット、サービスショット、ウィルスゲートショット等を開発・販売。外食業界から他業界への販路拡大を推進

3. サポート体制の充実

人材確保と社内外研修制度の充実により、安定的かつ長期的なシステム提供体制を構築

4. 販売チャネルの多角化

直接販売に加え販売提携・代理店契約を拡大。外食・中食・給食・ホテルなど幅広い顧客層に対応

③ 対処すべき課題

① 外食業界の人手不足対応

- ・配膳AIロボット活用方法の開発と提案体制構築
- ・自動発注システムによる中小飲食店の業務効率化

② コンプライアンス体制強化

- ・売上計上に係る適切な業務フロー構築と履行義務の明文化
- ・2025年7月25日の特別調査委員会報告書指摘への再発防止策実行
- ・役職員のコンプライアンス意識強化研修と意識改革

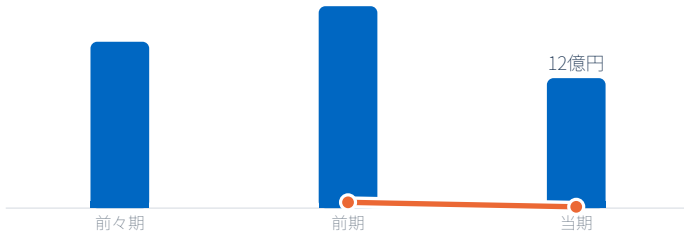
③ 調達・生産体制の最適化

- ・資源価格上昇に対応した製品調達方法の見直し
- ・生産体制改善による遅延のない納品と収益力増強

面接で使えるポイント

- ・飲食店経営管理システム（R）と自動発注システムで食材ロス削減と人手不足解決に貢献する情報システムインフラ企業を目指してい…
- ・ROE20%以上・配当性向30%の目標達成に向けた外食業界への高粗利ソフトウェア販売戦略を推進中
- ・2025年7月の特別調査委員会報告を受けた売上計上等の再発防止策を着実に実行し、コンプライアンス体制を強化している

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
12億円

営業利益率
▲7.2%

財務健康度
1点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 22.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）

平均年齢
－（未開示）

平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

要するに

「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを
社是に

主力事業・セグメント

- ・ApplicationサービスP 96.6%
- ・ホテルRelated 3.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

